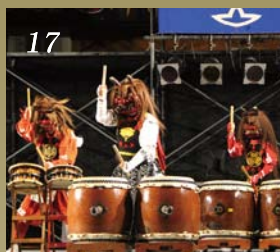




太鼓コンテスト

打つ 魂の演奏

負けられない戦いがここにある



「鬼のお太鼓コンテスト」は10月8日、鬼北総合公園体育館で開催されました。本イベントは、「えひめいやしの南予博2016」の開催に合わせて行われたもので、全国各地から21団体の和太鼓集団が集結し、学生の部と一般の部に分かれて、競い合いました。

各団体に与えられた時間は7分間。この限られた時間の中で、いかに自分たちの持ち味を活かし、観客の心をつかむことができるのか勝負の鍵を握ります。その理由は、太鼓集団「天邪鬼」の渡辺洋一審査員長をはじめとする審査員6人に加え、観客も審査員の一人であるため。来場者たちは、入場の際受け取った投票券を、お気に入りの団体の名前が書かれた投票箱に投票を行うのです。そして、両部門の上位3団体のみが出演できる「でちこんか2016・邦楽ライブinきほく」。同日の夜開催されるこの夢の舞台を目指して、各団体のメンバーたちは全身全霊で太鼓を打ち鳴らしました。

まず、甲岡秀文鬼北町長が「この鬼北の地で独創的な演奏を響かせ、これから